

# あきと ともだち

配当時数	16 時間	配当時期	1 年 10-11 月	教科書ページ	上巻 p66-75
特に中心となる内容	(5)季節の変化と生活 (6)自然や物を使った遊び				
単元の目標	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、身近な自然の違いや特徴を見つけたりすることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出したりすることができるようにする。				
単元の評価規準	<p><b>知識・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付いている。</li> </ul> <p><b>思考・判断・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、身近な自然の違いや特徴を見つけたりしている。</li> </ul> <p><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びをつくり出したりしようとしている。</li> </ul>				

小単元の目標	学習活動	重点評価規準
<b>あきと ともだち</b> <b>あきを 見つけよう</b> 5 時間／上 p66-69 <b>目標</b> 秋を見つける活動の中で、自然の様子を五感で捉えたり、夏の様子と比較したりすることができ、秋らしい自然の様子や、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付くことができるようにする。	①秋らしい事や物、遊びを出し合い、これからしたいことについて話す。 ・教科書を見ながら、秋らしい事や物、したことのある遊び、これからしてみたいことを出し合う。春・夏の様子や教科書の写真と比べて考えてもよい。 ②秋見つけの散歩をする。 ・活動前に、春や夏の活動で発見できたものなどを確認しておくことよい。 ・公園などには自分たち以外にも利用者がいることを意識させ、公共のルールやマナーを考えられるようにする。 ③散歩をしながら見つけた物で遊んだり、体全体で季節を感じたりする。 ・遊びに使えるような木の実や色づいた木の葉を、たっぷり集めるようにする。 ④発見や気付いたことを伝え合う。 ・教師は、「見つけた『秋』を教えてね。」などと問いかけ、気付いたことを表現できるよう促す。	<p><b>知識・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植物や生き物、気温、風などの秋らしい自然の様子や、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付いている。</li> <li>公共施設を利用するにあたって、みんなが気持ちよく過ごすためにルールやマナーを守っている。</li> </ul> <p><b>思考・判断・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋の自然の様子や遊びについて、五感を通して感じたり、夏の様子と比較したりしながら、伝え合ったり遊んだりしている。</li> </ul>
<b>おちばや 木の みで つくろう</b> 5 時間／上 p70-71 <b>目標</b> 秋の自然物を他の物に見立てたり、特徴を生かしたりするなどしながら工夫して遊ぶことができ、道具や用具を適	①秋の自然物の特徴から発想を広げて、おもちゃや造形物などを作る。 ・自然物の色・形などに着目したり、比べたりする中で、おもちゃや造形物を自由に作る。事前に教師が作った作例や教科書などを参照してもよい。	<p><b>知識・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しくおもちゃ作りをするためには、道具や用具を適切に使うことや、次に使う人のために、活動後に整理整頓・掃除をすることが大切であると気付いている。</li> </ul> <p><b>思考・判断・表現</b></p>

<p>切に使うことなどの大切さに気付くことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師は、爪楊枝や紙コップなどの素材を用意しておく。</li> <li>・きりなどの道具は専用コーナーを設けて決まった場所に置き、それぞれの道具の使い方を指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然物を他のものに見立てたり、その特徴を生かしたりして、実際におもちゃを作りながら、より楽しいものにするにはどうすればいいか、考えている。</li> </ul>
<p><b>つくった おもちゃで あそぼう</b></p> <p>5 時間／上 p72-73</p> <p><b>目標</b></p> <p>秋の自然物で遊ぶ活動を通して、遊び方や作り方を比べたり見直したりすることができ、秋の自然物で遊ぶ楽しさに気付くことができるようにする。</p>	<p>①秋の自然物を利用して作ったおもちゃで遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに作ったおもちゃや造形物を使って、友達どうして遊ぶ。</li> <li>・競争したり比べたりする中で、改めて自然物の特徴に気付いたり、遊び方を工夫したりすることを大切にする。</li> <li>・作った物で遊んで終わりにするだけではなく、うまく遊べるように直したり、新しい制作物に挑戦したりするようにしたい。</li> </ul> <p>②見つけたことや気付いたことを伝え合う。</p>	<p><b>知識・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでも楽しく遊ぶために、遊びのルールを守っている。</li> </ul> <p><b>思考・判断・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然物を使って遊ぶ活動を通して、友達のおもちゃや遊び方と比べたり、遊び方を見直したりして、楽しんで遊んでいる。</li> </ul> <p><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然物を使って遊ぶ活動を通して、季節の自然物を用いて遊ぶことの楽しさに気づき、秋ならではの遊びに注目しようとしている。</li> </ul>
<p><b>あきと ともだちに なれたかな</b></p> <p>1 時間／上 p74</p> <p><b>目標</b></p> <p>秋らしい自然の様子や秋ならではの遊びの楽しさを実感することで、これからも積極的に自然と触れ合って遊んだり、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしたりしようとするができるようにする。</p>	<p>①活動を振り返り、したことや、もっとやってみたいことなどを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの記録などを見ながら、友達との対話の中で活動を振り返り、本単元でしたことや、もっとやってみたいことなどを書く。</li> <li>・教師は、遊んだ記録や撮影していた写真などを用意して、振り返りのための環境作りをしておく。また、「春や夏とは何が違うかな。」などと問いかけ、違いに気付いた児童の発言を取り上げるとよい。</li> </ul>	<p><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋らしい自然の様子や秋ならではの遊びの楽しさを実感することで、これからも積極的に自然と触れ合って遊んだり、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしたりしようとしている。</li> </ul>
<p><b>いっしょに たのしもう</b></p> <p>配当外／上 p75</p> <p><b>目標</b></p> <p>幼児と遊ぶ交流会について、幼児のことを予想しながら準備をしたり、幼児といっしょに遊んだりすることができ、交流することの楽しさや幼児の立場に立って考えることの大切さに気付くことができるようにする。</p>	<p>①幼児と遊ぶ交流会を計画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識をもちながら、どんな準備が必要かを考えていく。</li> <li>・教師は、事前に、幼稚園等と交流会のねらいや内容について打ち合わせ、幼児の姿を把握しておく。</li> </ul> <p>②幼児との交流会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアでの活動など、いっしょに遊ぶ中で、幼児との交流を深めていく。</li> <li>・相手の立場に立って、どうすれば楽しんでもらえるかを考える。</li> </ul> <p>③幼児との交流会を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会を終えて、思ったことなどを伝え合う。</li> <li>・教師は、うまくできたこと、できなかったことを問いかけ、また幼児と交流したいという気持ちにつなげていく。</li> </ul>	<p><b>知識・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児と交流することについて、その楽しさや、幼児の立場に立って考えることの大切さに気付いている。</li> </ul> <p><b>思考・判断・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児との交流会に向けて、どのような遊びをすれば楽しんでもらえるかを予想しながら、準備をしたり、交流会でいっしょに遊んだりしている。</li> </ul>